

# 日根野中だより

令和5年8月9日発行 日根野中学校 校長 武田 博之

## 2023年 平和登校日に考える…

今日8月9日は、長崎に原爆が投下されてから78回目の夏の日です…

長崎には、前々任校の修学旅行にて、下見を含め、6回行ったことがあります。行くたびに、あらゆる学びにつながった気がします。爆心地に近い山王神社の一本柱鳥居…大浦天主堂…平和公園など…。また、被爆され、生き残られた方からの聞き取り学習から受けた衝撃は、今でも忘れません。爆発の熱線により焼けた後が想像できる、ケロイド状になった背中を、クラスの生徒たちに触らせ、身をもって戦争の悲惨さを伝えてくれた、語り部の方々…。あのような悲惨な戦争は2度としてはいけないと涙ながらに語ってくれたあの姿は脳裏から離れません…。

昨年も紹介しましたが…

### ながい たかし 永井 隆 博士をご存じですか？

彼は医師であり、作家でもあります…。有名な作品が「長崎の鐘」。島根県に生まれた永井博士は、医師を目指して長崎医科大学に入学…、卒業後は放射線医学を研究しました。

昭和20年8月9日、午前11時02分、長崎に原子爆弾が投下され、この一発で何万人もの人々が亡くなったり、けがをしたりしました。この時永井博士も、こめかみを切る大けがをしたのですが、自分のけがの手当てを後回しにし、生き残った看護婦を集め、自分自身が失神して倒れるまでの3日間、必死にけがの手当てにあたったそうです。

その後、奇跡的に回復した永井博士は、しばらくは原子爆弾の被害報告書を書いたり、大学での研究を始めたりしていましたが、病気は永井博士の体を確実に蝕み、とうとう立てないほどになってしまいました。しかし、「腕や指はまだ動く…。自分には書くことが出来るではないか…」と、平和への強い願いを込めて、本を書き始めます。体は日に日に悪くはなりましたが、それでも書くことを辞めずに、世界に平和の大切さを訴え続けます。みんなには、永井隆先生の「長崎の鐘」を大人になるまでには、一度読んでほしいと強く願います。

## <長崎の鐘…> 「どん底に大地あり」

こよなく晴れた 青空を 悲しと思う せつなさよ  
うねりの波の 人の世に はかなく生きる 野の花よ  
なぐさめ はげまし 長崎の ああ 長崎の鐘が鳴る

今年も「祈りの長崎」が鎮魂に包まれています…



## 平和登校日に考える…広島・長崎に学ぶ

8月6日は「広島原爆の日」、今日9日は「長崎原爆の日」です。新聞やテレビ番組でも多く取り上げられ、ほとんどの人が知っていますね…。その日から78年…今の「平和」の礎を築いた先人の生き方・考え方に学ぶ良い機会でもあります。ご家族で、平和についてゆっくりとお話される時間をとっていただければ幸いです。今この時…だからこそ、考えるべきことも多くあります。是非とも願います。

## <今に感謝しなければ…> 8月9日：長崎原爆の日に思う…

朝から登校の見守りをしてくださる地域の方々…午前中ほとんどの時間を学校内の巡回、見守りをしてくださる生徒指導主事の先生…各クラス、各学年でがんばる各先生たち…少し考えてもこれだけの人たちの心が動き、みんなを見守ってくれています。さらに、もっと大きな愛で見守ってくださる保護者の方々…そんな守られた中で、何を感じ、どう動くのか…これらはすべて、ひとり一人の心にかかっています…。

## 少し過ぎましたが…8月6日は広島原爆の日



みなさんもお存じの通り、78年前の8月6日には広島に原子爆弾が投下されました。多くの命が奪われ平和な日常が一瞬にして消え去りました。78年後の今も苦しんでおられる方が多くいらっしゃいます。78年という月日が流れても、この日を「平和」や「戦争」について考える日としてほしいと強く願います。道徳の教科書に、「平和への願い」という教材が、よく取り上げられています。7年前…2016年に、オバマ元アメリカ合衆国大統領が広島を訪問した際、演説の中に盛り込まれた内容を中心に構成されています。自分自身、この演説に感動したことを強く記憶しています。オバマ氏が折られた「折り鶴」が広島、長崎の両記念館（祈念館）に展示されている映像をよく見ますが、その映像からも、温かさで平和を願う信念を感じ取ることが出来ると思っています…。

## オバマ氏の演説の一部を紹介します…

私の国はシンプルな言葉から始まりました。「すべての人は等しく作られ、生命、自由、幸福追求を含む、奪われることのできない権利を創造者から授けられた」。そうした理想を実現するのは、たとえ私の国内であっても、国民同士であっても、決して簡単なことではありませんでした。しかし、その物語へ忠実であり続けることは、努力に値することです。大陸を越え、海を越えて追い求められるべき理想なのです。すべての人の減らすことのできない価値。すべての命は尊いという主張。私たちはたった一つの人類の一員なのだという根本的で欠かせない考え。これらが、私たち全員で伝えていかなければならない物語なのです。

それが、私たちが広島を訪れる理由です。私たちが愛する人のことを考えるためです。朝起きて最初に見る私たちの子どもたちの笑顔や、食卓越しの伴侶からの優しいふれあい、親からの心安らぐ抱擁のことを考えるためです。私たちはそうしたことを思い浮かべ、71年前(2016年時点で)、同じ大切な時間がここにあったということを知ることが出来るのです。亡くなった人たちは、私たちと何ら変わらないのです。普通の人たちは、このことを分かっていると思っています。普通の人にはもう戦争なんて望んでいません。科学の力は、人の生活を奪うのではなく、向上させることを目的にしてもらいたいと思っています。国家や指導者が大きな選択をするにあたり、このシンプルな良識を反映させる時、広島の教訓は生かされるのです。

世界はここで、永遠に変わってしまいました。しかし今日、この街の子どもたちは平和に暮らしています。なんて尊いことでしょうか。それは守り、すべての子どもたちに与える価値のあるものです。それは私たちが選ぶことのできる未来です。広島と長崎が「核戦争の夜明け」ではなく、私たちが道徳的に目覚めることの始まりとして知られるような未来なのです…

**広島・長崎の教訓を、戦争を知らない私たちだからこそ、聞き取りを学びに変えて、子どもたちに伝えていく必要があります。**

**平和登校日(集会)に参加して、私たち教師もその気持ちを強く持つことが出来たのではないかと感じます…。**

**ご家族でもそんな話題でお話しされてはどうでしょうか？子どもたちの心の成長には欠かせないものだと感じています…。**

## 平和と戦争・社会を考えるテレビ・ラジオ番組 2023年

### <テレビ放送>

NHK スペシャル「いのち眠る海～最新調査で明かす太平洋戦争～」

8月5日(土) 午後10:00～10:49

NHK スペシャル「原子爆弾・秘録～謎の商人とウラン争奪戦～」

8月6日(日) 午後9:00～9:49

NHK スペシャル「発見 昭和天皇 御進講メモ～戦時下 知られざる外交戦～」 8月7日(月) 午後10:00～10:59

NHK スペシャル「原爆投下 10秒の衝撃」 8月9日(水) 10:00

8月10日(木) 10:00 8月11日(金) 10:00

特集ドラマ「軍港の子 よこすかクリーニング 1946」 8月10日(木) 午後10:00～11:13

NHK スペシャル「新・ドキュメント太平洋戦争 1943 国家総力戦の真実 前編」

8月12日(土) 午後10:00～10:49

NHK スペシャル「新・ドキュメント太平洋戦争 1943 国家総力戦の真実 後編」

8月13日(日) 午後9:00～9:49

NHK スペシャル「Z世代と“戦争”」

8月15日(火) 午後7:30～8:42

新日本風土記「鎮魂の旅」

BS 8月15日(火) 午後9:00～9:59

NHK スペシャル「届かなかった手紙 時をこえた郵便配達」

8月21日(月) 10:00

ETV 特集「語られなかったサイパン～慰霊の旅 30年の記録～」

8月26日(土) 午後11:00～11:59

### <ラジオ放送>

NHK スペシャル「アナウンサーたちの戦争」 8月14日(月) 午後10:00～11:30

アナウンサー百年百話「ラジオが伝えた戦争」

8月2日(水)、9日(水)、16日(水)、23日(水) 午後10:00 ラジオ第2

終戦から78年：Z世代が伝える戦争のはなし

8月14日(月)～18日(金) 午後7:35～7:50 ラジオ第1

8月14日(月)～18日(金) 午後9:30～9:45 FM

歴史を知ると  
今がある理由がわかる…  
これから  
何をすべきか見えてくる…  
大切に考えたい日本の  
八月…

平和な今…  
慌ただしい中でも史実を知り  
先人の思、恵みに気づき、  
感謝する心を持たなければ…  
その心こそ明日への歩みの  
真の力になるだろう…